

て有りれば男は此女を丁々え危と云ふ女は此男と云  
思つておやのいふもれも製するた人有り給扱げと云ふ乃  
男は許よりかゝん

は井筒のつゝもかやーしまるるうけ

おひよ〜〜〜れ〜〜〜ん〜〜〜ん

返

〜〜〜〜〜ゆり〜〜〜け髪のか〜〜〜男

君ろ〜〜〜い〜〜〜誰〜〜〜あ〜〜〜

か〜〜名高ぶる名物と無位無官の則と〜〜〜なめら事

藤原のゆり〜〜い〜〜ん〜〜ん〜〜ん〜〜ん〜〜ん〜〜ん

飛渡や〜〜か社ろ〜〜彼福寺金剛上不知名よるりお補も

賣拂ひて井筒の後〜〜多深まむ〜〜残り〜〜後二十歳

能りも誰〜〜と小人〜〜た〜〜て〜〜な〜〜し〜〜捨有〜〜し〜〜近

以豊作織糸是とら〜〜黄金二十両と落〜〜鴻の内八枚筋

の張定〜〜移も秘〜〜人〜〜彼宅も〜〜い〜〜井筒のみを残り〜〜

惜む〜〜〜〜福寺金た〜〜井筒も〜〜京寺よ〜〜ま〜〜り〜〜

人も是と賞ときたに白銀黄金の媒よ〜〜な〜〜め〜〜名と失ひ

聲あ〜〜埋れ〜〜實よ〜〜油と浸〜〜地〜〜り〜〜

遠札の事

堺州國守の三丁東南にありし林中に祠とある世人方遠  
 の宮といふ是より二丁中ありしと云ふといふ地有是櫻津和  
 泉河内之三丁國の界也此宮河内といふも和泉一派を又  
 櫻津ともいふなり打除の比るも外より無東弱と  
 いふ向泉寺を以官と云ふ死を所札といふの標と原道と向  
 泉寺を大小路ありしと泉原の比るれも實は論を以  
 比交の由緒と少くは世俗家造善法をも縁といふ方遠の札  
 と云ふといふ鬼門金神八將神のたゞりまたしといふ傳  
 へり素家といふ地打除の地るれも云と云ふ善諸も  
 不の理はとも別無東物も成てたりといふといふ

尚社のみ礼しして云の標と  
 を云ふといふは

齋居の事

兵庫郡西の文の津よ毎年正月九日の夜四例といふ一村の家  
 毎に門雲と違ふといふ事いひるる由縁る人戸をばく  
 因く事等を候し是と齋居といふ神事なり

村雨堂の事

同  
 矢田郡須磨村よ松風むし雨の旧法村雨堂といふいり謡曲